

「ママと一緒に。ママ大好き」

下館 羽音（しもだて はお） 6歳

むつみ保育園

（東北教区）

●表紙のこたば●



仲良く手をつなぎ、ニコニコ顔で嬉しそうな表情の2人の人物が描かれています。まず最初に、明るい色のクレヨンの線描で一気に人物を描いたことがわかります。胴体の部分は、それぞれ桃色や水色を使っていますが、左側の人物の口は赤色のクレヨンに持ち替えています。人物の首から肩のラインがしっかり描かれています。点も見逃せません。左側の人物をより丁寧に慎重に描いたことがわかります。さて、どちらが「ママ」なのでしょうね。

先生のねらいは、好きな人との楽しかった思い出を描くというものでした。羽音さんは、迷うことなく「ママと一緒に、ママ大好き」と話しながら描いていったそうです。「好きな人」「楽しかった思い出」と聞いてすぐに結びついたのが母親と過ごした時間だったのでしよう、と先生は振り返ってくれました。大切なのは「大好きなお母さん」を描いたのではなく、お母さんと一緒に過ごした「コト」が語られている点です。

おお はし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科